

第5回
「就職したい企業・業種ランキング」
調査

2019年2月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社

<http://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第5回「就職したい企業・業種ランキング」調査

2. 調査方法

インターネット調査

3. 調査エリア

全国

4. 期間

2019年1月25日(金)～2019年1月30日(水)

5. 調査対象者

2020年3月卒業予定の大学3年生男女個人

6. 調査対象企業と選定方法

各業界の大手企業・組織 200社を抽出

7. 有効回収数

440サンプル

8. 回答者の属性

性別・文理別

	文系	理系	合計
男性	98	92	190
女性	125	125	250
合計	223	217	440

1. 調査結果

[1] 「就職したい企業・業種ランキング」／ランキング結果

「就職したい企業・業種ランキング」のランキング1位は「地方公務員」(回答率 31.6%)であった。次いで「国家公務員」が2位(同 18.0%)、「Google」が3位(同 6.1%)となった。以下、4位「大塚製薬」(同 5.2%)、5位に「日本赤十字社」、(同 5.0%)、6位に「アマゾン」(同 4.3%)、7位に「明治」(同 4.1%)、8位に「アステラス製薬」、「東日本旅客鉄道(JR 東日本)」(同 3.9%)と続いた。

また、今回「地方公務員」の割合が大幅に増加したことにより、「地方公務員」が1位、「国家公務員」が2位となり、前回調査から1位と2位の順位が逆転した。その他は、「大塚製薬」(前回 39位→今回4位)、「日本赤十字社」(前回 70位→今回5位)、「アステラス製薬」(前回 32位→今回8位)、「武田薬品」(前回 18位→今回 11位)と医薬品製造業・医療事業4社と、「東日本旅客鉄道(JR 東日本)」(前回 12位→今回8位)、「西日本旅客鉄道(JR西日本)」(前回 25位→今回 12位)、「東京急行電鉄(東急)」(前回 48位→今回 16位)の鉄道業3社が順位を上げた一方で、「三菱UFJ銀行」(前回 18位→今回 51位)、「三井住友銀行」(前回 12位→今回 51位)、「みずほ銀行」(前回 14位→今回ランキング対象外)と銀行業3社はそれぞれ順位を大きく下げる結果となった。(図表A)

業種としては、公務員が1位と2位を独占したほか、医療関連が4社(大塚製薬、日本赤十字社、アステラス製薬、武田薬品)がランクインし、人気の業種となった。

なお、トップ 100 については図表Bにまとめた。

[2] 「就職したい企業・業種ランキング」／文理別比較

就職先として望む会社を文系・理系別に集計したところ、文系学生が望む就職先のランキング1位は、「地方公務員」(回答率 35.9%)であった。次いで「国家公務員」(同 15.2%)が2位、「Google」(同 7.2%)が3位、「東日本旅客鉄道(JR東日本)」(同 6.3%)が4位、「西日本旅客鉄道(JR西日本)」(同 5.4%)が5位となった。前回との比較では、「東日本旅客鉄道(JR東日本)」(前回 111位→今回4位)、「西日本旅客鉄道(JR西日本)」(前回 111位→今回5位)、「東京急行電鉄(東急)」(前回 111位→今回6位)と鉄道業3社が順位を上げた一方で、「みずほ銀行」(前回3位→今回 157位)、「三井住友銀行」(前回4位→今回 25位)、「三菱UFJ銀行」(前回4位→今回 28位)と銀行3行が大幅に順位を下げた。

これに対して、理系学生が望む就職先のランキング1位は「地方公務員」(回答率 27.2%)となり、次いで「国家公務員」(同 20.7%)が2位、「大塚製薬」(同 10.1%)が3位、「アステラス製薬」(同 7.8%)が4位、「日本赤十字社」、「武田薬品」(同 6.9%)が5位となった。前回との比較では、「大塚製薬」(前回 50位→今回3位)、「アステラス製薬」(前回 52位→今回4位)、「武田薬品」(前回 50位→今回5位)と医薬品製造業3社が大幅に順位を上げた。(図表C)

文系学生においては、玩具製造業や鉄道業、航空運輸業などの趣味性の強い業種に人気が集まっているのに対して、理系学生においては、製薬業や電気機器製造業など、自身が大学等で学んできた知識を活かせる業種への就職を希望している傾向がうかがえる。

[3] 就職したい企業・業種ランキング／男女比較

就職先として望む会社を男女別に集計したところ、男性が望む就職先のランキング1位は、「国家公務員」(回答率 27.9%)であった。次いで「地方公務員」(同 14.2%)が2位、「Google」(同 8.4%)が3位、「アマゾン」、「パナソニック」、「東日本旅客鉄道(JR東日本)」(同 5.8%)が4位となった。前回との比較では、「日本郵便」(前回5位→今回 23 位)や「ゴールドマンサックス」(前回9位→今回 32 位)などが順位を下げた一方で、「パナソニック」(前回 87 位→今回4位)、「東日本旅客鉄道(JR東日本)」(前回 135 位→今回4位)、「任天堂」(前回 101 位→今回7位)が順位を上げて、上位にランクインした。

一方、女性が望む就職先のランキング1位は「地方公務員」(回答率 34.4%)となり、次いで「国家公務員」(回答率 20.8%)が2位、「明治」(同 6.8%)が3位、「大塚製薬」、「日本赤十字社」(同 6.4%)が4位と続いた。前回との比較では、「資生堂」(前回2位→今回 15 位)や「講談社」(前回6位→今回 68 位)が順位を下げた一方で、「明治」(前回 29 位→今回3位)、「森永乳業」(前回 28 位→今回6位)、「カネボウ化粧品」(前回 56 位→今回7位)が大幅に順位を上げた。(図表D)

全体でのランキングトップであった「国家公務員」、2位の「地方公務員」、3位の「Google」は、男女別においても高い人気を有していることが特徴として見られた。また、男性では、「鉄道業」や「電気機器製造業」の人気が高く、女性では、「食料品製造業」や「化粧品製造業」の人気が高くなった。男女のトップ 20 に共通する企業は、20 社中7社のみの結果となり、男女による人気企業の違いが明確となった。

[4] 「就職したい企業・業種ランキング」／出身地域比較

就職したい企業を出身地域別に集計したところ、全ての地域において「地方公務員」と「国家公務員」が1位と2位を独占している。また、各地域に根差した地元企業としては、「トヨタ自動車」が「中部」の上位企業、「西日本旅客鉄道(JR西日本)」が「関西」の上位企業としてランクインしていることから、「中部」、「関西」地域においては、地元で知名度のある「トヨタ自動車」、「西日本旅客鉄道(JR西日本)」に対する関心の高さがうかがえる。(図表E)

[5] 「就職したい企業・業種ランキング」／選択理由

就職したい企業を選択した理由について自由回答で尋ねたところ、1位の「地方公務員」については、「安定しているから」、「地元に貢献したいから」といった回答が多く見られ、2位の「国家公務員」では「安定しているから」、「社会的信用度が高いから」といった回答、3位の「Google」では「クリエイティブさが活かそうだから」といった回答が見られた。

ランキング上位企業における選択理由の多くが、企業・組織の規模を背景とした安定性や事業内容への興味や憧れ、商品・サービスへの愛着等の理由が多く見られた。(図表F)

[6] 「就職したい企業・業種ランキング」／業種別

就職したい業種について集計したところ、1位が「公的機関・その他」(回答率 16.8%)となり、次いで2位が「生活用品・サービス」(同 8.0%)、3位が「IT・情報通信」(同 6.4%)となった。(図表G)

逆に、就職したくない業種についても同様にアンケートを行ったところ、1位が「小売・外食」(同 18.9%)、2位が「金融・法人向けサービス」(同 13.4%)、3位が「運輸・物流」(同 8.0%)となった。(図表H)

「小売・外食」に関しては、就職したい業種ランキングで下位層であり、就職したくないランキングでは最上位である点から、依然として外食業界については、労働環境問題などの影響により、就職先として敬遠されがちな業種となっていることがうかがえる。また近年、人手不足による過剰労働で話題になった「運輸・物流」においても同様の傾向が表れている。

「金融・法人向けサービス」は、いずれのランキングにおいても上位にランクインしており、学生にとって意見が二分化されている業種といえる。

[7] 「就職したい企業・業種ランキング」／就職先選定方法

就職活動における学生の行動基準について調査したところ、以下のとおりとなった。

就職先の選定において気になる点では、「給与額」(回答率 59.8%)が1位、「雇用形態(正社員・非正規社員)」(同 33.2%)が2位、「残業時間」(同 29.8%)が3位となり、以下、「福利厚生」(同 26.4%)、「勤務地」(同 18.9%)が続いた。特に、「給与額」へ関心の高さが際立つ結果となった。(図表I)

さらに、「給与額」について、最低限実現したい生涯最高年収を調査したところ、「500万円以上 600万円未満」(同 16.6%)が最も多く、「600万円以上 700万円未満」(同 15.7%)が2位、「400万円以上 500万円未満」(同 13.0%)が3位となった。特に、文系よりも理系、女性よりも男性方が、高い年収を望む傾向が強かうかがえる結果となった。(図表J)

就職先の選定における情報収集手段としては、「企業のホームページ・パンフレット」(同 70.9%)が圧倒的に多く、次いで「その他のインターネット情報」(同 28.2%)、「友人・知人」(同 24.5%)、「SNS」(同 23.9%)、「会社四季報」(同 10.2%)と続いた。(図表K)

[8] 「就職したい企業・業種ランキング」／就職活動状況

就職活動に備えた活動としては、「企業へのインターンシップへの参加」(回答率 65.0%)が最も多く、「合同企業説明会などイベントへの参加」(同 45.9%)、「業界・企業研究」(同 33.2%)と続いた。前回比較においては、「就職活動支援セミナーへの参加」、「合同企業説明会などイベントへの参加」、「業界・企業研究」が減少する一方で、「企業へのインターンシップへの参加」が増加していることから、インターンシップ制度を活用した採用活動が主流になっている様子が表れている。(図表L)

就職活動を開始する時期について調査したところ、「2019 年4月以降」(回答率 34.3%)が最も多く、次いで「2019 年1月～3月」(同 24.5%)が2位となり、今年度の就職活動の開始時期である3月頃から就職活動を開始する学生が多く見られた。(図表M)

最後に就職先を選定する際の意味決定手段について尋ねたところ、「親の意見を参考にしながら、自分の意思で決める」(同 40.5%)が1位となり、次いで「自分の意思のみで決める」(同 34.3%)が2位、「友人・知人の意見を参考にしながら、自分の意思で決める」(同 18.4%)が3位だった。(図表N)

2. 総評

今年も3月1日に、2020年卒の学生の就職活動が本格的にスタートする。

政府(厚生労働省)の発表では、2019年1月の有効求人倍率は1.61倍と、過去2番目に高い水準となった。近年の景気回復と人手不足により、採用拡大の動きが続き、「売り手市場」とも言われている就職活動において、学生達がどのような思考のもとで就職活動を行っているのかを調査したのが、「就職したい企業・業種ランキング」アンケートである。

本アンケートの結果によれば、安定職の代名詞とも言える「公務員」に加えて、「医薬品製造業・医療事業」や「鉄道業」に人気が集まる結果となった。特に、鉄道業においては、文系の学生を中心に人気を集めた。また、理系の学生からは、「自らが学業で得た専門性や知識、経験を商品開発等で活かせる職場」として、「飲食料品会社」や「製薬会社」が高い人気を得ている。

近年、日本経済は、東京オリンピックや大阪万博を控えて戦後最長の景気拡大が続くなど、順調に推移している。しかし、長期的には、少子高齢化によって労働人口(生産年齢人口)が減少していることで、労働力不足に伴う経済の停滞懸念が高まっている。今回のランキングにおいて、公務員の回答率(49.6%)が前回調査(10.8%)よりも大幅に上昇している点を考慮すると、学生が将来の日本経済の停滞を見越して「安定」志向を強めていると見ることもできよう。

2018年10月に、経団連は2021年春以降の新卒者を対象に就職活動の開始時期を自由とする「就職活動ルールの廃止」を決定した。これによって、企業が優秀な学生を早期に確保するために、就職活動開始時期の前倒しや就職活動期間の長期化が生じることが予想されている。

それに対して、今回、学生に「理想の就職活動の時期」についてアンケート調査を行ったところ、「大学3年生後期に開始」し、「大学4年生前期に内定を得たい」と考えている学生が最も多い結果となり、学生と企業との間には、就職活動の時期、期間において意識の相違が存在していることが明らかとなった。(図表〇)

大学在学中は、できるだけ学業に専念し、卒業近くになってから集中的に就職活動に取り組みたいと考える学生の考え方は理解できる一方で、就職活動に早いうちに取り組み、社会活動に早期から目を向けることは、十分な時間を掛けて自らに適した仕事を選ぶことができる、という考え方にも一理あるともいえよう。

選んだ就職先に長きにわたって勤めることができれば、それは学生と企業のそれぞれにとって、望ましいことといえる。企業としては、昨今盛んに行われているインターンシップ制度などを活用しながら、学生の本分である学業に支障が生じない範囲で、学生に自社の仕事の魅力を伝えつつ、優秀な学生の確保を図っていく姿勢が求められよう。

試行錯誤を繰り返しながら、自らが生涯にわたって勤めるべき企業を見つけていく、学生達のこれからの健闘に期待したい。

図表A 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト20

(n=440/複数回答)

今回 順位	前回 順位	変動	就職先	都道府県	業種	回答率
1	2	↑(+1)	地方公務員	-	公務	31.6%
2	1	↓(▲1)	国家公務員	-	公務	18.0%
3	6	↑(+3)	Google	東京都	インターネット付随サービス業	6.1%
4	39	↑(+35)	大塚製薬	東京都	医薬品製造業	5.2%
5	70	↑(+65)	日本赤十字社	東京都	医療事業	5.0%
6	48	↑(+42)	アマゾン	東京都	無店舗小売業	4.3%
7	6	↓(▲1)	明治	東京都	食料品製造業	4.1%
8	32	↑(+24)	アステラス製薬	東京都	医薬品製造業	3.9%
8	12	↑(+4)	東日本旅客鉄道(JR東日本)	東京都	鉄道業	3.9%
10	18	↑(+8)	パナソニック	大阪府	電気機器製造業	3.6%
11	18	↑(+7)	武田薬品	東京都	医薬品製造業	3.4%
12	32	↑(+20)	グリコ	大阪府	食料品製造業	3.2%
12	48	↑(+36)	カネボウ化粧品	東京都	化粧品製造業	3.2%
12	25	↑(+13)	西日本旅客鉄道(JR西日本)	大阪府	鉄道業	3.2%
12	4	↓(▲8)	全日本空輸(ANA)	東京都	航空運輸業	3.2%
16	57	↑(+41)	日本郵便	東京都	郵便・物流事業	3.0%
16	6	↓(▲10)	ソニー	東京都	電気機器製造業	3.0%
16	14	↓(▲2)	任天堂	京都府	玩具製造業	3.0%
16	48	↑(+32)	東京急行電鉄(東急)	東京都	鉄道業	3.0%
16	39	↑(+23)	ソニー・ミュージックエンタテインメント	東京都	コンテンツ事業	3.0%
16	84	↑(+68)	オリエンタルランド	千葉県	テーマパーク事業	3.0%

図表B 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト100

(n=440/複数回答)

順位	企業名	回答率	順位	企業名	回答率
1	地方公務員	31.6%	51	ゴールドマンサックス	1.6%
2	国家公務員	18.0%	51	アディダス	1.6%
3	Google	6.1%	51	カルビー	1.6%
4	大塚製菓	5.2%	51	コーセー	1.6%
5	日本赤十字社	5.0%	51	三菱重工	1.6%
6	アマゾン	4.3%	51	サンリオ	1.6%
7	明治	4.1%	51	日本放送協会(NHK)	1.6%
8	アステラス製薬	3.9%	51	TBS	1.6%
8	東日本旅客鉄道(JR東日本)	3.9%	51	NTTデータ	1.6%
10	パナソニック	3.6%	51	三菱UFJ銀行	1.6%
11	武田薬品	3.4%	51	三井住友銀行	1.6%
12	グリコ	3.2%	51	博報堂	1.6%
12	カネボウ化粧品	3.2%	51	近畿日本ツーリスト	1.6%
12	西日本旅客鉄道(JR西日本)	3.2%	51	全国農業協同組合連合会(JA全農)	1.6%
12	全日本空輸(ANA)	3.2%	65	三菱化学	1.4%
16	日本郵便	3.0%	65	オリンパス	1.4%
16	ソニー	3.0%	65	シャープ	1.4%
16	任天堂	3.0%	65	ヤマハ	1.4%
16	東京急行電鉄(東急)	3.0%	65	NTTドコモ	1.4%
16	ソニー・ミュージックエンタテインメント	3.0%	65	フジテレビジョン	1.4%
16	オリエンタルランド	3.0%	65	ベネッセコーポレーション	1.4%
22	森永乳業	2.7%	65	三菱UFJ信託銀行	1.4%
22	楽天	2.7%	65	エイチ・アイ・エス(HIS)	1.4%
22	資生堂	2.7%	65	ユーキャン	1.4%
25	味の素	2.5%	75	大成建設	1.1%
25	キューピー	2.5%	75	カゴメ	1.1%
25	富士フイルム	2.5%	75	日本電気(NEC)	1.1%
25	富士通	2.5%	75	本田技研工業(ホンダ)	1.1%
25	日本テレビ	2.5%	75	テレビ朝日	1.1%
25	イオン	2.5%	75	キーエンス	1.1%
25	セコム	2.5%	75	スクウェア・エニックス(スクエニ)	1.1%
32	日清食品	2.3%	75	日本ハム	1.1%
32	キヤノン	2.3%	75	野村證券	1.1%
32	トヨタ自動車	2.3%	75	日本生命	1.1%
32	集英社	2.3%	75	電通	1.1%
32	日本航空(JAL)	2.3%	75	サイバーエージェント	1.1%
32	ジェイティービー(JTB)	2.3%	75	帝国ホテル	1.1%
38	山崎製パン	2.0%	88	積水ハウス	0.9%
38	サントリー	2.0%	88	竹中工務店	0.9%
38	旭化成	2.0%	88	伊藤園	0.9%
38	日立製作所	2.0%	88	アサヒビール	0.9%
38	講談社	2.0%	88	TOTO	0.9%
38	アップル(Apple)	2.0%	88	川崎重工業	0.9%
44	LINE	1.8%	88	IHI	0.9%
44	清水建設	1.8%	88	タニタ	0.9%
44	ヤクルト	1.8%	88	バンダイ(BANDAI)	0.9%
44	花王	1.8%	88	ヤフー	0.9%
44	東宝	1.8%	88	三菱商事	0.9%
44	東海旅客鉄道(JR東海)	1.8%	88	三井物産	0.9%
44	エイベックス(Avex)	1.8%	88	伊藤忠商事	0.9%

図表C 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 文理別ランキング

(n=440/複数回答)

文系			理系		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	35.9%	1	地方公務員	27.2%
2	国家公務員	15.2%	2	国家公務員	20.7%
3	Google	7.2%	3	大塚製薬	10.1%
4	東日本旅客鉄道(JR東日本)	6.3%	4	アステラス製薬	7.8%
5	西日本旅客鉄道(JR西日本)	5.4%	5	日本赤十字社	6.9%
6	東京急行電鉄(東急)	4.9%	5	武田薬品	6.9%
7	アマゾン	4.5%	7	パナソニック	6.0%
7	楽天	4.5%	8	明治	5.5%
7	集英社	4.5%	8	カネボウ化粧品	5.5%
7	全日本空輸(ANA)	4.5%	10	Google	5.1%
11	日本郵便	4.0%	11	キューピー	4.6%
11	講談社	4.0%	11	富士フィルム	4.6%
11	ソニー・ミュージックエンタテインメント	4.0%	13	アマゾン	4.1%
14	日本テレビ	3.6%	13	グリコ	4.1%
14	ジェイティービー(JTB)	3.6%	13	資生堂	4.1%
16	日本赤十字社	3.1%	13	味の素	4.1%
16	東宝	3.1%	13	富士通	4.1%
16	近畿日本ツーリスト	3.1%	18	ソニー	3.7%
16	セコム	3.1%	18	森永乳業	3.7%
20	明治	2.7%	18	キヤノン	3.7%
20	任天堂	2.7%	18	トヨタ自動車	3.7%
20	サンリオ	2.7%	18	サントリー	3.7%
20	日本航空(JAL)	2.7%	18	旭化成	3.7%
20	イオン	2.7%	18	日立製作所	3.7%
20	三井住友銀行	2.7%	※背景色有りは、文理で共通している企業		
20	博報堂	2.7%			
20	オリエンタルランド	2.7%			

図表D 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 男女別ランキング

(n=440/複数回答)

男性			女性		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	27.9%	1	地方公務員	34.4%
2	国家公務員	14.2%	2	国家公務員	20.8%
3	Google	8.4%	3	明治	6.8%
4	アマゾン	5.8%	4	大塚製薬	6.4%
4	パナソニック	5.8%	4	日本赤十字社	6.4%
4	東日本旅客鉄道(JR東日本)	5.8%	6	森永乳業	4.8%
7	ソニー	5.3%	7	Google	4.4%
7	任天堂	5.3%	7	アステラス製薬	4.4%
7	東京急行電鉄(東急)	5.3%	7	武田薬品	4.4%
7	西日本旅客鉄道(JR西日本)	5.3%	7	グリコ	4.4%
11	富士通	4.2%	7	カネボウ化粧品	4.4%
11	トヨタ自動車	4.2%	7	全日本空輸(ANA)	4.4%
13	清水建設	3.7%	7	ソニー・ミュージックエンタテインメント	4.4%
13	大塚製薬	3.7%	7	オリエンタルランド	4.4%
13	日立製作所	3.7%	15	資生堂	4.0%
13	東海旅客鉄道(JR東海)	3.7%	15	味の素	4.0%
13	アップル(Apple)	3.7%	15	キューピー	4.0%
18	日本赤十字社	3.2%	18	ジェイティービー(JTB)	3.6%
18	アステラス製薬	3.2%	19	アマゾン	3.2%
18	旭化成	3.2%	19	日本郵便	3.2%
18	楽天	3.2%	19	日本テレビ	3.2%
18	セコム	3.2%	19	イオン	3.2%
※背景色有りは、男女で共通している企業			19	日清食品	3.2%
			19	ヤクルト	3.2%

図表E 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 出身地域別 上位企業

北海道・東北 (n=49)			関東 (n=130)		
順位	企業名	回答率	順位	企業名	回答率
1	地方公務員	44.9%	1	地方公務員	26.2%
2	国家公務員	20.4%	2	国家公務員	15.4%
3	日本赤十字社	16.3%	3	東日本旅客鉄道(JR東日本)	9.2%
4	明治	6.1%	4	大塚製薬	7.7%
4	パナソニック	6.1%	4	アステラス製薬	7.7%
4	東京急行電鉄(東急)	6.1%	関西 (n=111)		
4	東日本旅客鉄道(JR東日本)	6.1%	順位	企業名	回答率
4	日本航空(JAL)	6.1%	1	地方公務員	29.7%
4	全国農業協同組合連合会(JA全農)	6.1%	2	国家公務員	16.2%
中部 (n=75)			3	Google	8.1%
順位	企業名	回答率	4	明治	7.2%
1	地方公務員	25.3%	5	西日本旅客鉄道(JR西日本)	6.3%
2	国家公務員	16.0%	※背景色有りは、公務員および当該地域の企業		
3	アマゾン	5.3%	※地域は、出身地で集計		
4	日本赤十字社	5.3%			
4	トヨタ自動車	5.3%			
4	セコム	5.3%			
4	キャノン	5.3%			
4	講談社	5.3%			
4	キューピー	5.3%			
4	富士通	5.3%			
中国・四国・九州 (n=75)					
順位	企業名	回答率			
1	地方公務員	41.3%			
2	国家公務員	25.3%			
3	Google	8.0%			
4	日本赤十字社	6.7%			
4	ソニー	6.7%			

図表F 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト 20 選択理由

順位	企業名	選んだ理由	性別年代
1	地方公務員	地元で安定した職に就きたいから	男性・文系
1	地方公務員	安定しているから	女性・文系
1	地方公務員	待遇が自分に合うから	男性・文系
1	地方公務員	公務員保育士になりたい	女性・文系
1	地方公務員	多くの人の暮らしの安全や安心に関わる仕事をしたいため。	女性・文系
1	地方公務員	自分の学んだ専門的な技術が活かせるから。	男性・理系
1	地方公務員	安定しているイメージがあるから	男性・理系
1	地方公務員	待遇が良い	男性・文系
1	地方公務員	安定性があるから	女性・文系
1	地方公務員	なりたいたいから	男性・文系
1	地方公務員	地元に残りたいから	女性・理系
1	地方公務員	安定しているから	女性・文系
1	地方公務員	親が押し付けてくるから	女性・理系
1	地方公務員	給料が安定しているため	女性・文系
1	地方公務員	安定男女差がない	女性・文系
1	地方公務員	家から近い	女性・文系
1	地方公務員	安定している	男性・理系
1	地方公務員	看護師を目指しているため	女性・理系
1	地方公務員	自治体で採用される教員をめざしている。	女性・文系
1	地方公務員	安定していて将来的にも転職がないから	女性・文系
1	地方公務員	暦どおり休めるから	女性・文系
2	国家公務員	安定性が高いので。	男性・文系
2	国家公務員	安定している知りたい社会的信用度が高いから	女性・理系
2	国家公務員	安定性と業務内容が魅力的だから。	男性・文系
2	国家公務員	厚労省で働きたい	女性・理系
2	国家公務員	知識をつけたい、世間体が良い	男性・文系
2	国家公務員	自分の興味のある内容の仕事があるから。	女性・理系
2	国家公務員	潰れることがないから	女性・文系
2	国家公務員	安定しててやりがいがある	男性・理系
2	国家公務員	国のために働ける、安定している、という理由から	女性・文系
2	国家公務員	安定性見栄	男性・理系
2	国家公務員	労働基準監督官になりたいから。	女性・理系
2	国家公務員	給料も安定しているし、福祉サービスも充実しているから。	女性・文系
2	国家公務員	安定していて給料の高いから	女性・文系
2	国家公務員	責任感のある仕事をしたい	女性・理系
2	国家公務員	臨床検査技師の資格を取りたいため。	女性・理系
2	国家公務員	幅広く活躍できそうだから。	女性・文系
3	Google	会社の働き方の方針が自分の考えに非常に合っていると考えるた	女性・文系
3	Google	カッコいい	男性・理系
3	Google	楽しそう	男性・理系
3	Google	有名な点と自分自身が成長できそうだから	男性・文系
3	Google	クリエイティブさが活かせるから	女性・文系
4	大塚製薬	有名だから	女性・理系
5	日本赤十字社	幼い頃から赤十字社で勤務したいと思っていたから。	女性・理系
5	日本赤十字社	助ける仕事	女性・文系
5	日本赤十字社	医療関係に就きたいから	女性・理系
5	日本赤十字社	医療系に携わりたい	女性・理系
5	日本赤十字社	年収が高いから	男性・文系
5	日本赤十字社	医療従事者を目指しているから	女性・理系
5	日本赤十字社	医療系の職であればここが一番だと感じたから	男性・理系
6	アマゾン	アマゾンは便利で好きだから選択した	男性・理系
6	アマゾン	将来有望だから	男性・文系
6	アマゾン	どういう仕組みで成り立っているのかが知りたいから	女性・理系
6	アマゾン	好きだから	女性・文系
6	アマゾン	たのしそう	女性・理系
7	明治	お菓子が好きだから	女性・文系

順位	企業名	選んだ理由	性別年代
7	明治	有名だから	女性・理系
8	アステラス製薬	先端技術を扱っている	男性・理系
8	アステラス製薬	製薬業界に興味があり、OBが楽しそうに仕事しているから。	男性・理系
8	アステラス製薬	将来性がある	男性・理系
8	アステラス製薬	安く多くの人に薬提供できるから	男性・理系
8	アステラス製薬	最先端の医薬品についての研究がしたいから。	男性・理系
8	アステラス製薬	自分が通っている学科に最も関連があると思ったから	女性・理系
8	アステラス製薬	製薬会社なので	女性・理系
8	アステラス製薬	製薬会社の中でも有名であるため。	女性・理系
8	東日本旅客鉄道(JR東日本)	就職したい業種かつ自宅から通えるから。	男性・理系
8	東日本旅客鉄道(JR東日本)	今とても勢いのある会社だから	女性・文系
8	東日本旅客鉄道(JR東日本)	女性が少ない	女性・文系
8	東日本旅客鉄道(JR東日本)	父親が務めているから	女性・文系
8	東日本旅客鉄道(JR東日本)	安定しているから。	男性・理系
8	東日本旅客鉄道(JR東日本)	鉄道に興味があり、これからの鉄道発展に寄与したい	男性・文系
10	パナソニック	有名だから	男性・理系
10	パナソニック	自分が興味を持てる取り組みを行っているから。有名だから。	男性・理系
10	パナソニック	とても親しみがある企業で正解的にも名高い	男性・理系
11	武田薬品	ネームブランドがあるから	男性・理系
11	武田薬品	生命科学に興味があるから	女性・理系
11	武田薬品	開発したいから	男性・理系
11	武田薬品	大手の製薬会社だからです。	男性・理系
11	武田薬品	上場企業だから	女性・理系
12	グリコ	管理栄養士として活躍できそうな企業だから	女性・理系
12	グリコ	食品業界の大手企業であるから	男性・理系
12	グリコ	グリコの商品が好きだから	男性・文系
12	カネボウ化粧品	女性を応援していそうだから。	女性・理系
12	西日本旅客鉄道(JR西日本)	地元のインフラだから	男性・文系
12	西日本旅客鉄道(JR西日本)	最も身近にある企業だから	男性・文系
12	西日本旅客鉄道(JR西日本)	自分の好きな鉄道に関わることができるから	男性・文系
12	西日本旅客鉄道(JR西日本)	教育が他社にないほど重視され、手当なども充実しているから。	男性・文系
12	西日本旅客鉄道(JR西日本)	インフラ業界に興味があり、できれば地方で働きたいから。	男性・文系
12	全日本空輸(ANA)	グローバルに活躍できるから	女性・理系
12	全日本空輸(ANA)	飛行機が好きだから	女性・文系
12	全日本空輸(ANA)	飛行機に携わる仕事をしたいから。	男性・理系
16	日本郵便	窓口業務の仕事で、福利厚生がきちんとしている職に就きたいため。	女性・文系
16	日本郵便	内容として	男性・文系
16	ソニー	音楽に興味があるから有名だから	女性・文系
16	ソニー	有名企業なので	男性・理系
16	任天堂	最も影響を受けたから	男性・文系
16	任天堂	ゲーム開発に興味があるから	男性・理系
16	任天堂	好きなゲームを作っているから	女性・文系
16	東京急行電鉄(東急)	大学が提携しているから	男性・理系
16	東京急行電鉄(東急)	まちづくりのノウハウが蓄積されているから	男性・文系
16	ソニー・ミュージックエンタテインメント	興味のある分野だから。	女性・文系
16	ソニー・ミュージックエンタテインメント	就職というか契約したい	男性・文系
16	オリエンタルランド	夢がある	女性・理系
16	オリエンタルランド	ディズニー大好きだから	女性・理系
16	オリエンタルランド	ディズニーが好きだから	女性・理系

図表G 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職したい業種ランキング

(n=440/単一回答)

順位	業種	全体	文系	理系	男性	女性
1	公的機関・その他 (公務員、JA、士業など)	16.8%	20.6%	12.9%	15.3%	18.0%
2	生活用品・サービス (医薬品、化粧品、スポーツ用品など)	8.0%	4.5%	11.5%	4.2%	10.8%
3	IT・情報通信 (IT情報サービス、通信サービスなど)	6.4%	6.3%	6.5%	7.4%	5.6%
4	金融・法人向けサービス (銀行、証券、クレジット、保険など)	5.7%	8.5%	2.8%	7.4%	4.4%
4	食品・農業 (食品、飲料、農産物など)	5.7%	4.5%	6.9%	4.2%	6.8%
6	エンタメ・レジャー (音楽、映画、ゲーム、テーマパークなど)	4.5%	7.2%	1.8%	3.2%	5.6%
7	エネルギー・資源・素材 (石油、電力、ガス、鉄鋼、化学など)	3.4%	1.8%	5.1%	5.8%	1.6%
7	メディア (広告、新聞、新聞、出版、印刷など)	3.4%	6.3%	0.5%	3.7%	3.2%
9	運輸・物流 (鉄道、空運、海運、陸運など)	2.7%	3.6%	1.8%	5.8%	0.4%
10	自動車・重機械 (自動車、自動車部品、二輪車など)	2.3%	1.3%	3.2%	3.2%	1.6%
11	電機・精密 (白物家電、パソコン、電子部品など)	2.0%	0.4%	3.7%	4.2%	0.4%
12	建設・不動産 (建設、不動産、建材など)	1.8%	2.2%	1.4%	2.6%	1.2%
13	小売・外食 (コンビニ、スーパー、百貨店、外食など)	1.4%	1.8%	0.9%	0.5%	2.0%
14	卸売 (総合商社、専門商社)	0.9%	1.3%	0.5%	0.5%	1.2%

※背景色有りは、上位3項目

図表H 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職したくない業種ランキング

(n=440/単一回答)

順位	業種	全体	文系	理系	男性	女性
1	小売・外食 (コンビニ、スーパー、百貨店、外食など)	18.9%	15.7%	22.1%	26.8%	12.8%
2	金融・法人向けサービス (銀行、証券、クレジット、保険など)	13.4%	15.2%	11.5%	13.7%	13.2%
3	運輸・物流 (鉄道、空運、海運、陸運など)	8.0%	6.7%	9.2%	8.9%	7.2%
4	自動車・重機械 (自動車、自動車部品、二輪車など)	5.7%	4.0%	7.4%	1.6%	8.8%
5	IT・情報通信 (IT情報サービス、通信サービスなど)	5.5%	5.8%	5.1%	2.6%	7.6%
6	エンタメ・レジャー (音楽、映画、ゲーム、テーマパークなど)	5.0%	5.4%	4.6%	4.2%	5.6%
7	建設・不動産 (建設、不動産、建材など)	4.8%	7.2%	2.3%	4.7%	4.8%
8	メディア (広告、新聞、新聞、出版、印刷など)	4.5%	2.7%	6.5%	3.2%	5.6%
9	電機・精密 (白物家電、パソコン、電子部品など)	4.3%	5.8%	2.8%	3.2%	5.2%
10	公的機関・その他 (公務員、JA、士業など)	4.1%	4.5%	3.7%	4.2%	4.0%
11	エネルギー・資源・素材 (石油、電力、ガス、鉄鋼、化学など)	3.6%	3.6%	3.7%	4.2%	3.2%
11	生活用品・サービス (医薬品、化粧品、スポーツ用品など)	3.6%	4.5%	2.8%	3.7%	3.6%
13	食品・農業 (食品、飲料、農産物など)	2.3%	1.8%	2.8%	3.2%	1.6%
14	卸売 (総合商社、専門商社)	1.6%	2.2%	0.9%	2.1%	1.2%

※背景色有りは、上位3項目

図表I 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定において気になる点

(n=440/複数回答)

順位		全体	文系	理系	男性	女性
1	給与額	59.8%	50.7%	69.1%	56.8%	62.0%
2	雇用形態(正社員・契約社員など)	33.2%	31.8%	34.6%	27.9%	37.2%
3	残業時間	29.8%	30.5%	29.0%	31.1%	28.8%
4	福利厚生	26.4%	25.1%	27.6%	18.4%	32.4%
5	勤務地	18.9%	17.5%	20.3%	18.4%	19.2%
6	サービス残業の有無	16.8%	15.7%	18.0%	17.4%	16.4%
7	転勤や異動の頻度	13.4%	15.2%	11.5%	13.2%	13.6%
8	離職率	11.4%	14.3%	8.3%	14.7%	8.8%
8	労働時間の規則性	11.4%	12.1%	10.6%	13.7%	9.6%
10	教育・研修制度	6.6%	5.8%	7.4%	4.2%	8.4%
11	職種(ホワイトカラーorブルーカラー)	6.1%	7.2%	5.1%	7.9%	4.8%
12	ノルマの有無・内容	5.5%	7.2%	3.7%	6.8%	4.4%
13	社内イベント・飲み会の頻度	3.9%	2.7%	5.1%	6.3%	2.0%
14	その他	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	0.4%

※背景色有りは、上位3項目

図表J 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 最低限実現したい生涯最高年収

(n=440/単一回答)

No.		全体	文系	理系	男性	女性
1	300万円未満	4.5%	3.6%	5.5%	4.7%	4.4%
2	300万円以上400万円未満	10.0%	10.8%	9.2%	8.4%	11.2%
3	400万円以上500万円未満	13.0%	15.2%	10.6%	9.5%	15.6%
4	500万円以上600万円未満	16.6%	17.0%	16.1%	13.7%	18.8%
5	600万円以上700万円未満	15.7%	13.5%	18.0%	14.2%	16.8%
6	700万円以上800万円未満	11.8%	11.7%	12.0%	14.2%	10.0%
7	800万円以上900万円未満	5.2%	5.8%	4.6%	8.4%	2.8%
8	900万円以上1,000万円未満	5.5%	6.7%	4.1%	5.3%	5.6%
9	1,000万円以上1,500万円未満	8.2%	5.4%	11.1%	10.5%	6.4%
10	1,500万円以上2,000万円未満	2.5%	1.8%	3.2%	2.1%	2.8%
11	2,000万円以上2,500万円未満	2.0%	1.3%	2.8%	1.6%	2.4%
12	2,500万円以上	5.0%	7.2%	2.8%	7.4%	3.2%

※背景色有りは、上位3項目

図表K 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定における情報収集手段

(n=440/複数回答)

順位		全体	文系	理系	男性	女性
1	企業のホームページ・パンフレット	70.9%	69.1%	72.8%	66.3%	74.4%
2	その他のインターネット情報	28.2%	24.7%	31.8%	31.1%	26.0%
3	友人・知人	24.5%	18.8%	30.4%	27.4%	22.4%
4	SNS	23.9%	23.8%	24.0%	21.1%	26.0%
5	会社四季報	10.2%	12.1%	8.3%	15.3%	6.4%
6	親	10.0%	9.4%	10.6%	8.9%	10.8%
7	新聞	7.0%	5.8%	8.3%	8.9%	5.6%
7	上記以外の書籍・雑誌	7.0%	4.5%	9.7%	8.9%	5.6%
9	企業の株価	6.6%	4.0%	9.2%	10.5%	3.6%
10	企業の格付	5.2%	3.6%	6.9%	7.9%	3.2%
11	2ちゃんねる	5.0%	4.0%	6.0%	8.9%	2.0%
12	有価証券報告書	4.1%	4.0%	4.1%	6.3%	2.4%
13	会社番付なう	3.2%	3.6%	2.8%	4.2%	2.4%

※背景色有りは、上位3項目

図表L 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職活動に備えての活動状況

(n=440/複数回答)

順位		全体	前回	文系	理系	男性	女性
1	企業へのインターンシップへの参加	65.0%	63.0%	61.0%	69.1%	66.8%	63.6%
2	合同企業説明会などイベントへの参加	45.9%	49.4%	48.4%	43.3%	46.8%	45.2%
3	業界・企業研究	33.2%	36.4%	35.4%	30.9%	34.2%	32.4%
4	就職活動支援セミナーへの参加	32.3%	33.6%	32.3%	32.3%	30.0%	34.0%
5	OB/OG訪問	22.7%	21.6%	17.0%	28.6%	25.8%	20.4%
6	アルバイト	18.0%	17.4%	20.6%	15.2%	17.4%	18.4%

※背景色有りは、上位3項目

図表M 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職活動開始時期

(n=440/単一回答)

No.		全体	関東・関西	その他	文系	理系	男性	女性
1	2018年3月以前	12.5%	12.9%	12.1%	12.6%	12.4%	13.7%	11.6%
2	2018年4月～6月	7.3%	10.4%	3.5%	9.9%	4.6%	5.8%	8.4%
3	2018年7月～9月	8.4%	7.9%	9.0%	9.4%	7.4%	6.8%	9.6%
4	2018年10月～12月	13.0%	14.5%	11.1%	17.9%	7.8%	16.8%	10.0%
5	2019年1月～3月	24.5%	22.0%	27.6%	26.9%	22.1%	24.2%	24.8%
6	2019年4月以降	34.3%	32.4%	36.7%	23.3%	45.6%	32.6%	35.6%

※背景色有りは、上位2項目
 ※地域は、現在の居住地での集計。

図表N 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定における意思決定手段

(n=440/単一回答)

順位		全体	文系	理系	男性	女性
1	親の意見を参考にしながら、自分の意思で決める	40.5%	43.5%	37.3%	36.3%	43.6%
2	自分の意向のみで決める	34.3%	33.6%	35.0%	38.4%	31.2%
3	友人・知人の意見を参考にしながら、自分の意思で決める	18.4%	16.1%	20.7%	18.4%	18.4%
4	親の意見を最重要視して決める	3.4%	4.0%	2.8%	2.6%	4.0%
5	友人・知人の意見を最重要視して決める	3.4%	2.7%	4.1%	4.2%	2.8%

※背景色有りは、上位2項目

図表O 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 理想の就職活動開始希望時期・内定希望時期

(n=440 / 単一回答)

開始希望時期	回答率
大学1年生・2年生	10.4%
大学3年生前期	25.0%
大学3年生後期	43.0%
大学4年生前期	16.8%
大学4年生後期	4.8%

※背景色有りは、最上位項目

(n=440 / 単一回答)

内定希望時期	回答率
大学1年生・2年生	0.9%
大学3年生前期	1.1%
大学3年生後期	6.1%
大学4年生前期	71.4%
大学4年生後期	20.5%

※背景色有りは、最上位項目